

通 勤 届

年 月 日提出

任命権者		通勤公署名							
		所 在 地							
職名				氏 名					
住居									
通勤手当の支給に関する規則第3条の規定に基づき通勤の実情を届け出ます。									
届出の理由（該当する□に×印を付する。） ☐ 1 新 規（ ☐ 異動等に伴う通勤経路又は方法の変更の場合） ☐ 2 住所の変更（転居日の通勤 ☐ 有 ☐ 無） ☐ 3 通勤経路又は方法の変更 ☐ 4 運賃等の負担額の変更 ☐ 5 その他（ ）						☐ 直前の届出の区間と同一の区間がある （該当する区間に係る順路欄の□に×印を付する。）			
						届出の理由が生じた日 年 月 日			
順路	通勤 方法の別	区 間		距 離	所要時間	乗車券等の 種 類	左欄の乗車 券 等 の 額	備 考	
1	☐	住居から〔 経由〕		まで	km	分		円	
2	☐	から〔 経由〕		まで	km	分		円	
3	☐	から〔 経由〕		まで	km	分		円	
4	☐	から〔 経由〕		まで	km	分		円	
5	☐	から〔 経由〕		まで	km	分		円	
		から〔 経由〕		まで	km	分		円	
総 通 勤 距 離		km		総 所 要 時 間		分		徒歩による距離 (記入上の注意8参照) km	
通勤距離2km未満の場合 交通機関等を利用する理由				他に利用できる交通機関等がある場合 その名称及び利用区間等					
記入上の注意 1 「勤務公署」欄には、本庁にあっては部課名、出先機関にあっては出先機関名を記入する。 2 「届出の理由」欄中「3 通勤経路又は方法の変更」には勤務公署の所在地が変更したことによる通勤経路の変更を含み、「4 運賃等の負担額の変更」には勤務態様の変更（交替制勤務から普通勤務への変更等）による負担額の変更を含む。 3 「通勤方法の別」の欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車（一般道路、高速道路等）、〇〇線（普通、特急）等の別を記入する。 4 「乗車券等の種類」欄には、通勤に使用する乗車券等（定期券（6箇月）、回数券（11枚綴、5,000円券等）等の別）を記入する。 5 「左欄の乗車券等の額」欄には、通勤に使用する乗車券等（定期券（6箇月）、11枚綴回数券等）の額を記入する。 6 「備考」欄には、定期券を持たない理由、回数券等の1回当たりの利用料金等を記入する。 7 往路と帰路が異なる場合は、「備考」欄にその旨と理由を記入する。 8 「徒歩による距離」欄には、総通勤距離が4km未満の場合、交通機関等を利用しないで徒歩により通勤するものとした場合の片道の距離を記入する。 9 通勤の実情の一部に変更がある場合は、変更内容に関係のない事項の記入を省略することができる。									

給与条例第13条の6第3項又は第4項の規定の適用を受ける職員（特別急行列車等利用者）

- ☐ 1 異動等に伴い、通勤が困難になったことにより特別急行列車等を利用することとなった職員
- ☐ 2 上記以外の職員

※ 現公署への異動発令年月日		年 月 日		※ 異動等前の住居への入居年月日		年 月 日	
※ 異動等の直前の住居				※ 現住居への入居年月日		年 月 日	
特別急行列車等利用者の特別急行列車等を利用しない場合の通勤の経路及び方法等							
順路	通勤 方法の別	区 間		距 離	所要時間	備 考	
1		住居 から〔 経由〕		まで	km	分	
2		から〔 経由〕		まで	km	分	
3		から〔 経由〕		まで	km	分	
4		から〔 経由〕		まで	km	分	
5		から〔 経由〕		まで	km	分	
		から〔 経由〕		まで	km	分	
総 通 勤 距 離		km		総 所 要 時 間		分	
通勤距離2km未満の場合 交通機関等を利用する理由				他に利用できる交通機関等がある場合 その名称及び利用区間等			
記入上の注意 1 ※欄は□1に×印を付した職員のみ記入すること。 2 「通勤方法の別」欄には、通勤の順路に従い徒歩、自動車（一般道路、有料道路）、〇〇線等の別を記入する。							